

3年6・7組 生物基礎 課題

※教科書紙面データを見ながら問題を解き、解答のみノートに記入すること。

※最初の授業の際に提出してください。

○教科書 p 91 の内容

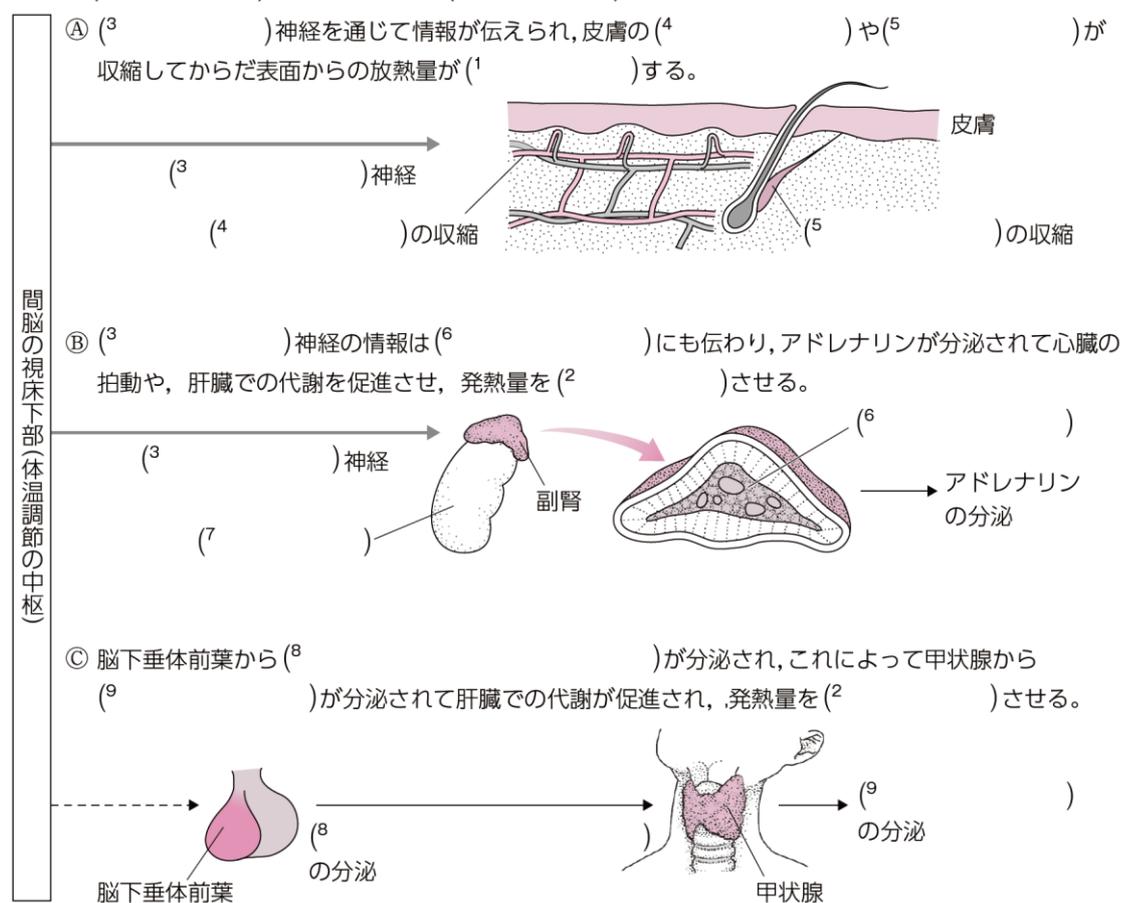
学習のまとめ

1 体温の調節

恒温動物では、外界の温度が変化しても体温をほぼ一定に保つしくみが存在する。

体温が低下したとき

放熱量を(1)させ、発熱量を(2)させて体温を上げるような調節が行われる。



体温が上昇したとき

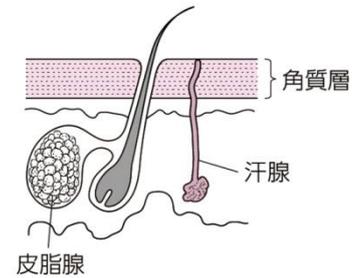
皮膚の(4) を拡張したり、(10) の分泌が盛んになったりして放熱量を(11) させ、体温を下げるように調節が行われる。

○教科書 p 94 ~ 100 の内容

学習のまとめ

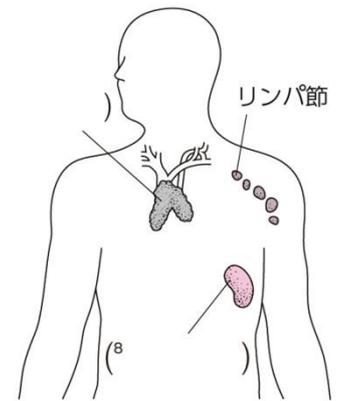
1 皮膚や汗などによる生体防御

- ・皮膚の表面の (1) は、物理的に病原体の侵入を防いでいる。また、気管や消化管の (2) は粘液によって病原体の付着を防いでいる。
- ・汗腺や皮脂腺から分泌される汗や皮脂は (3) 性で、微生物の繁殖を防いでいる。
- ・汗や涙、だ液などには、細菌類の細胞壁を分解する (4) が含まれ、細菌類の侵入を防いでいる。



2 免疫

- 体内に侵入した病原体は、(5) の働きによって排除さ (7) れる。この生体防御のしくみを (6) という。
- (5) は、リンパ管やリンパ節、(7) や (8) に数多く存在する。



3 白血球と食作用

